

春の鳥な鳴きそ鳴きそあかあかと外の面の草に日の入る夕  
水のべは柳しだるる橋いくつ舟くぐらせて涼しもよ子ら  
我つひに還り来にけり倉下や揺るる水照の影はありつつ  
ゆつたりと蒲団の綿は干されたり傍に鋭き赤たうがらし

白 秋



柳川が生んだ詩人北原白秋は、稀有な才能と芸術創造への激しい情熱をもって刻苦精進し、詩・短歌・童謡・民謡・歌謡など多くの分野でめざましい活躍をしました。

柳川市では毎年、白秋の命日である十一月二日を中心に白秋の遺徳を偲び、「白秋祭」を開催しておりますが、「北原白秋顕彰短歌大会」は歌人としての白秋の業績顕彰を目的として開催します。

皆さまの参加を心からお待ちいたしております。

## 第四十七回

# 北原白秋顕彰短歌大会

- 場 所 柳川あめんぼセンター（柳川市立図書館）
- 日 時 平成二十九年十一月二日（木） 十三時から
- 講話・講評 伊藤一彦氏
- 選 者 伊藤一彦氏 小島ゆかり氏 高野公彦氏

主催 柳川市・柳川市教育委員会  
後援 公益財団法人 北原白秋生家記念財団

※応募の詳細は裏面をご覧ください。